

1 平成18年度の相談の概要

※ 平成18年度に寄せられた相談件数は7,952件で、前年度(7,812件)と比べ微増で落ち着いた。

※ 相談者の年齢構成は、高齢者の比率が3年連続上昇しており、引き続き注意が必要！

※ 不当請求・架空請求の相談件数は増加！

※ 住宅リフォーム等の家屋修繕工事に関する相談件数が減少！

グラフ1：総相談件数の推移

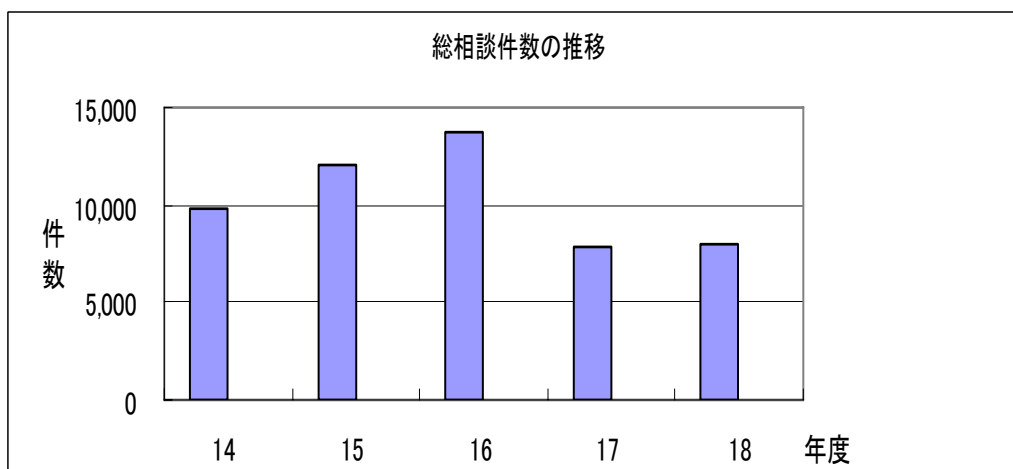


表1：総相談件数の推移

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
合計	9,770	12,056	13,694	7,812	7,952
対前年比	—	123.4%	113.6%	57.0%	100.2%

受付概況

- 1 消費生活相談の総数は7,952件で、前年度(7,812件)と比べ微増となった。平成16年度まで増加の一途をたどっていた相談総件数は、不当請求・架空請求の減少により平成17年度に大きく減少したが、18年度は微増で落ち着いた。(参照：グラフ1，表1)
- 2 相談者の年齢構成は、高齢者の比率が上昇した。60歳以上の構成比率は10.2%から11.2%へ、70歳以上は13.7%から14.1%へ、それぞれ上昇した。(参照：グラフ2，表2)
- 3 相談者の男女比に大きな変化はないが、男性(42.8%)より女性(52.6%)の相談が引き続き多くなっている。(参照：グラフ3，表3)

グラフ2：全相談の年度別・年代別件数

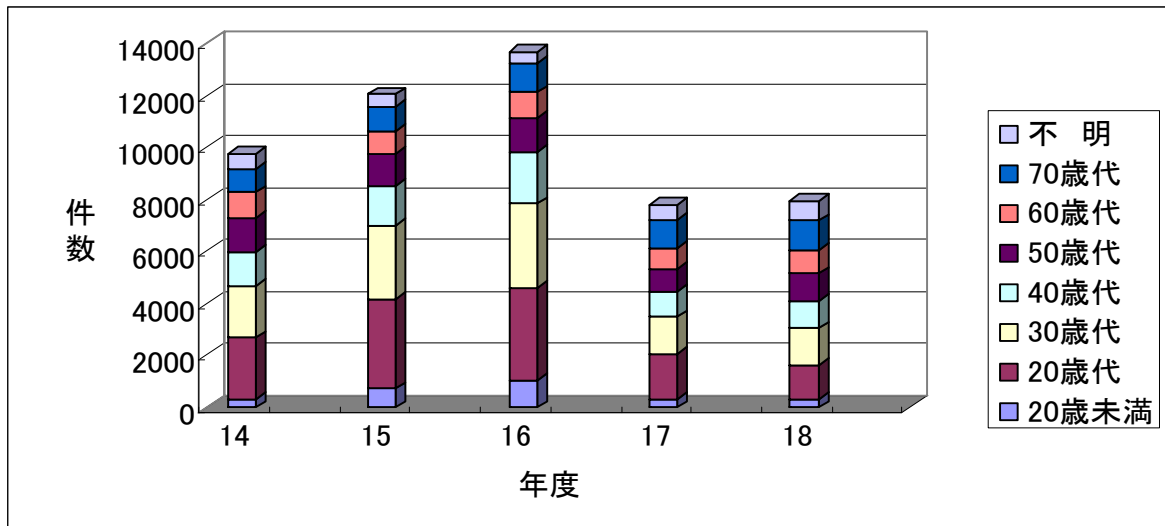


表2：全相談の年度別・年代別件数

年 度	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不 明	合 計
14	295 3.0%	2,374 24.3%	2,000 20.5%	1,337 13.7%	1,269 13.0%	991 10.1%	934 9.6%	570 5.8%	9,770 100.0%
15	728 6.0%	3,463 28.7%	2,804 23.3%	1,528 12.7%	1,259 10.4%	840 7.0%	943 7.8%	491 4.1%	12,056 100.0%
16	1,026 7.5%	3,586 26.2%	3,228 23.6%	2,017 14.7%	1,276 9.3%	981 7.2%	1,127 8.2%	453 3.3%	13,694 100.0%
17	324 4.1%	1,751 22.4%	1,402 17.9%	975 12.5%	897 11.5%	793 10.2%	1,072 13.7%	598 7.7%	7,812 100.0%
18	297 3.7%	1,348 17.0%	1,388 17.5%	1,051 13.2%	1,070 13.5%	892 11.2%	1,125 14.1%	781 9.8%	7,952 100.0%

(上段：件数，下段：構成比率)

グラフ 3 : 相談者の性別等

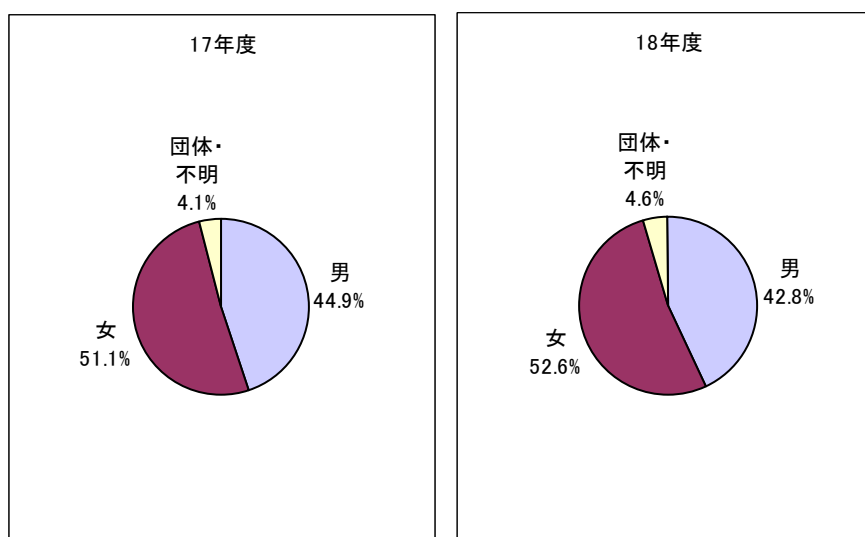


表 3 : 相談者の性別等

性別	18 年度		前年度比較			
	件数 (A)	構成比	17 年度		増減数 (A - B)	前年 増減比 (A ÷ B) - 1
			件数 (B)	構成比		
男	3,405	42.8%	3,504	44.9%	▲ 99	-2.8%
女	4,183	52.6%	3,990	51.1%	193	4.8%
団体・不明	364	4.6%	318	4.1%	46	14.5%
合計	7,952	100.0%	7,812	100.0%	140	1.8%

主な商品・役務の相談状況

- 1 「不当請求・架空請求」の相談件数が前年度比の 24.4%増の 2,330 件となった。平成 16 年度まで増加の一途をたどっていた同相談は、平成 17 年度に大きく減少したが、今年度に入り再び増加傾向にあるため、引き続き注意が必要である。
- 2 「家屋修繕工事」の相談件数が前年度比 35.4%減の 188 件となり、大きく減少した。悪質な住宅リフォームが大きな社会問題となり、リフォームを依頼した消費者からの相談が相次いでいたが、平成 18 年度に入りその傾向も落ち着いてきた。しかし、依然として相談件数は上位(6位)にあり、引き続き注意が必要である。

表 4：相談件数上位 10 位までの件数・構成比等

順位	商品・役務名	18 年度		前年度比較			
		件数(A)	構成比	17 年度		増減数 (A - B)	前年 増減比 (A ÷ B) - 1
				件数(B)	構成比		
1	不当請求・架空請求	2,330	29.3%	1,873	24.0%	457	24.4%
2	賃貸住宅	612	7.7%	678	8.7%	▲ 66	-9.7%
3	食器・台所用品	223	2.8%	245	3.1%	▲ 22	-9.0%
4	書籍・印刷物	202	2.5%	179	2.3%	23	12.8%
5	教室・講座	193	2.4%	193	2.5%	0	0.0%
6	家屋修繕工事	188	2.4%	291	3.7%	▲ 103	-35.4%
7	電報・電話	180	2.3%	204	2.6%	▲ 24	-11.8%
8	理美容	168	2.1%	165	2.1%	3	1.8%
9	文具・事務用品	160	2.0%	159	2.0%	1	0.6%
10	学習教材	123	1.5%	115	1.5%	8	7.0%
11 位以下		3,573	74.2%	3,710	47.5%	2,193	59.1%
総相談件数		7,952	100.0%	7,812	100.0%	140	1.8%

販売購入形態別にみる相談状況

販売購入形態別では「訪問販売」が対前年度比 21.5%減の 1, 186 件と減少した。これは、主に訪問販売が多い「家屋修繕工事」と「電話勧誘販売」、「マルチ・マルチまがい」の販売件数が減少したことが影響していると考えられる。

(参照：表 5)

表 5：販売購入形態別相談件数

	18 年度		前年度比較			
	件数	構成比	17 年度		増減数 (A-B)	前年 増減比 (A÷B)-1
			件数	構成比		
店舗購入	2,312	29.1%	2,405	30.8%	▲ 93	-3.9%
無店舗販売 合計	4,387	55.2%	4,677	59.9%	▲ 290	-6.2%
訪問販売	1,186	14.9%	1,510	19.3%	▲ 324	-21.5%
通信販売	2,307	29.0%	2,149	27.5%	158	7.4%
マルチ・マルチまがい	220	2.8%	281	3.6%	▲ 61	-21.7%
電話勧誘販売	311	3.9%	398	5.1%	▲ 87	-21.9%
ネガティブ・オプション	49	0.6%	41	0.5%	8	19.5%
その他無店舗	314	3.9%	298	3.8%	16	5.4%
不明等	1,253	15.8%	730	9.3%	523	71.6%
合計	7,952	100.0%	7,812	100.0%	140	1.8%

2 製品事故に関する情報

※ 電動ハイブリット自転車に関する注意喚起（新着）

ヤマハ発動機株式会社が製造した電動ハイブリット自転車について、後輪モーター型ドライブユニットのモーターを制御する部分に不具合があり、使用状況により、ペダルを踏むのを止めても、ごくまれにモーターの駆動が数秒間継続する可能性があり、最悪の場合、怪我をする恐れがあるため、無償部品交換を行っています。

⇒詳しくは国民生活センターホームページへ

(http://www.kokusen.go.jp/recall/data/s-20070417_1.html)

※ IH電磁調理器に関する注意喚起（新着）

株式会社ドリテックが製造したIH電磁調理器DI-701について、一部の製品で、使用中に発煙する可能性があることが判明したため、無償点検・修理を行っています。

⇒詳しくは国民生活センターホームページへ

(http://www.kokusen.go.jp/recall/data/s-20070417_1.html)

※ 草刈機に関する注意喚起（新着）

株式会社共立及びヤンマー農機が製造した刈払機において、使用後の歯車室（ギヤケース）の清掃・点検が不十分のまま使用を続けた場合、歯車室が磨耗して最悪の場合、ギヤシャフトごと刈刃が脱落する恐れがあることが判明したため、無償修理を行っています。

⇒詳しくは国民生活センターホームページへ

(http://www.kokusen.go.jp/recall/data/s-20070413_1.html)

消費生活に関する困りごとがあれば気軽に御相談ください。

京都市市民生活センター ☎256-0800（消費生活相談専用）

京都市中京区烏丸御池東南角アーバネックス御池ビル西館4F

* 悪質商法の手口や対処法の詳細については、当センターのホームページ (<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/soudan>) を御覧ください。

* 週末の相談は、消費生活週末（土日）電話相談へ：

257-9002 午前10時から午後4時

